

安積黎明高校における読書活動推進へ向けた取り組み

◎学校の概要

- ① 所在地：郡山市長者二丁目3-3
- ② 学級数・生徒数 21学級・825名（令和6年5月1日現在）
- ③ 蔵書数 41,329冊（令和6年5月1日現在）

◎読書活動推進への取り組み

(1) 利用しやすい図書館の整備

● 進路指導支援

進学や就職等、キャリア教育を意識した資料の充実を図り、細かくコーナーを設置するなどわかりやすい配置を心掛けている。小論文試験対策には、推薦書コーナーの設置と共に資料リストも作成し、毎年更新した最新版を全校生に配付し利用を促している。

また紙資料の他に新聞データベースも導入し、過去に遡り朝日・読売新聞の記事検索が容易に行えるようになり、学習・進路指導支援に活かされている。



キャリア教育図書コーナー・小論文資料リスト

● 探究活動・授業支援

生徒が主体的に調査研究を行う課題探究学習への資料支援を行っている。学校図書館では賄えない資料を公共図書館から借り受けて提供し、資料の充実を図っている。

また適時授業で扱われた教材や作家の関連本を展示し、学習内容の補強に貢献している。



● 図書展示コーナーの充実

月別テーマを設け資料展示を行うほか、時々のニュースに関する臨時展示を行うなど、蔵書の周知と利用促進に取り組んでいる。

令和6年度の月別展示

- ・紫式部と源氏物語の世界
- ・フランスってどんな国？
- ・本に関する本
- ・防災&健康
- ・コミックで学ぶ 他



月別展示コーナー

● 図書委員会による環境整備

週1回ミーティングを行い、活動内容の報告、確認、企画の相談を行っている。図書委員は交替でカウンター当番を務める他、新着図書のラベル付けやフィルム掛け等の整備作業、本棚の資料の配列直し、館内の清掃も担当し、日常的に利用しやすい図書館の環境整備に努めている。



新着図書のフィルム掛け作業

(2) 読書活動の質の向上へ向けた取り組み

● 読書討論会の開催

年1回読書討論会を開催している。図書委員会で課題本を選定し、校内で広く参加者を募って行っている。令和6年度はブレイディみかこ著『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』を課題本に開催された。参加者は事前に本を読みこみ、図書委員長を進行役に作品について自由にディスカッションを行う。他者の視点や読み方に刺激され、深く読書を味わえる機会となっている。討論会の内容は年度末に発行される図書館報『文苑』で報告し、読書の魅力を伝えている。



令和6年度読書討論会

● ビブリオバトル県大会への参加

ビブリオバトル福島県大会への参加を呼びかけ、参加する生徒への支援やアドバイスを行うなど、読書活動の深化に取り組んでいる。

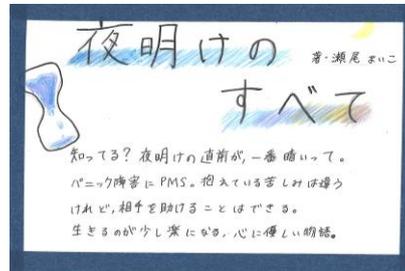
● 「本をつんだ小舟」発行

図書館からの連絡や新着図書に掲載した「図書館だより」の裏面に、図書委員が本の紹介をする「本の小舟」を連載している。図書委員広報係が交替で執筆し、展示も行っている。



● おすすめ本メッセージカードの作成

図書委員全員がおすすめ本を紹介するメッセージカード (POP) を作成している。作成されたカードは読書週間に合わせて本と共に展示し、貸出しの増加につながっている。



おすすめ本メッセージカード

● 図書委員による選書

図書館で新規購入する本の選書を、年に1回図書委員が行っている。生徒目線で高校生にとって親しみやすい本を選んでもらうことで、魅力的な蔵書構成に取り組んでいる。



選書した本の展示